

あらためて教えて！ 公民館ってどんな場所？

JR 中央線国立駅から徒歩5分、富士見通り沿いにある国立市公民館。しかし、「いつも素通りしている」「入ってみたいけど、よくわからない」そのような声もお聞きします。そこで、今回は改めて国立市公民館とはどんな場所かをご紹介します。初めての方も気軽にお立ち寄りください！



公民館正面の「思索の森」をイメージしたメッセージが目印です

あつまる

あそぶ！

だれもがつどう場

ひょうげんする

国立市公民館には、市民のグループ活動の場として、無料で利用できる9つの会場があります。1週間に1部屋を最大4時間半お使いいただけます。活動場所を探しているグループの方、ぜひ公民館にお越しください！

会場利用要件

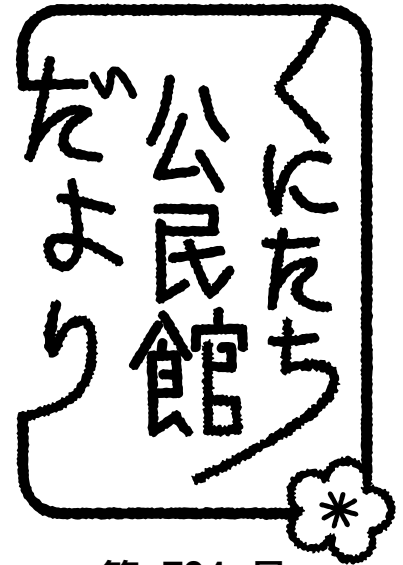
- 3名以上のグループであること
- 半数以上が市内在住、在勤、在学の方で構成されるグループであること
- 営利に関わる活動ではないこと
- ※個人で主宰する活動、指導者が生徒を集める教室等ではお使いいただけません。

利用方法の詳細は、ホームページをご確認いただくか、窓口にお問い合わせください。



会場名	定員	主な利用方法
ホール	約85名	音楽・ダンス・講座など
音楽室	約20名	音楽など
講座室	約35名	講座・集会など
集会室	約30名	
中集会室	約20名	サークル活動・会議など
小集会室	約10名	
和室	約20名	着付け・茶道・ヨガなど
実習室	約10名	調理・会議など
ロビー	—	展示など

少人数での活動に使いやすい「小集会室」「和室」「実習室」は比較的空きが多いです。



第 794 号

2026年 4月 5日
(令和 8年)

公民館ホームページ▶



発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日




地下の「ホール」 人気が高く、申込が埋まる場合が多いです



3階「実習室」 調理のできる部屋ですが、少人数の会議や創作活動などでもお使いいただけます

きづく 

はなす 

ともにまなぶ場

? かんがえる

国立市公民館は、主催講座に力を入れています。人権・平和・教育といった社会課題、しょうがいしゃ青年教室や日本語講座などの共生社会、地域史や防災などの地域に関わること、版画や身体表現といった創作表現、映画や文学などの文化芸術などの各分野で、年間を通してさまざまなテーマの主催講座を行っています。参加費は実費以外無料です。それぞれ担当職員が熱意を込めて企画・運営しています。ぜひ一度公民館の講座にご参加ください。

昨年度の講座の様子



公民館ホームページに、最新の講座案内や、これまでの講座情報が掲載されています。

↑公民館ホームページ「講座・催し」



「平和講座 くにたち・多摩地域の戦争」フィールドワークで戦争の足跡をたどります



「図書室のつどい 『対岸の家事』」話題になった本の著者から直接お話を伺います




「日本語教育入門」地域での日本語支援について学びました




「性教育講座 包括的性教育のススメ」模擬授業を体験した後、感想を共有しました



「身体表現 からだであそぼう」全8回の最後には発表会を行いました!

 **すごす**

じゅうなたまり場

やすむ 

 **ここにいる**

国立市公民館には個人でも過ごせるスペースがあります。図書室で本を読んだり、ロビーで休憩したり、「喫茶わいがや」でコーヒーを飲んだり……。気軽にくつろげる場所として、お立ち寄りください。

公民館図書室



講座関連図書を中心に約25,000冊の蔵書があります。新聞や雑誌を広げられる大きさの机もありますので、じっくりと読書に入り込めます。

1階市民交流ロビー

ゆっくりと休憩する人、黙々と自習する人、友人と談笑する人など、思い思いに過ごせる場所です。お互いに配慮しあいながら、気持ちよくご利用ください。奥には「喫茶わいがや」もあります。豆からこだわったコーヒーが大人気です!



「市民交流ロビー」お互いの思いやりが作る憩いの場です



「喫茶わいがや」丁寧にハンドドリップしています

 **大事にしてきた理念**

そもそも公民館って、なんのためにある？

目指すもの

公民館は、75年以上前（1949年）に作られた社会教育法という法律に基づいて、市町村が設置しています。社会教育法には、学校以外の場所でも、豊かに学ぶことができる社会にしていくため、地方公共団体の役割として、

「すべての国民があらゆる機会、あらゆる場所を利用して、自ら実際生活に即する文化的教養を高め得るような環境を醸成するように努めなければならない。」（社会教育法第3条）

としています。

毎号の「くにたち公民館だより」の欄外下に掲載し、いつも参照できるようにしている「学習権宣言」

（ユネスコ1985年）では、

「学習権はたんなる経済発展の手段ではない。それは基本的権利の一つとしてとらえられなければならない。学習活動はあらゆる教育活動の中心に位置づけられ、人々を、なりゆきまかせの客体から、自らの歴史をつくる主体にかえていくものである。」（子どもの権利条約をすすめる会訳）

とも書かれています。

国立市公民館は、こうした理念を実現していくために、市民の学びの場をつくり/ささえ、一人ひとりの学びに寄り添い/向き合うことを目指しています。

年間を通して活動のある講座の申し込みが始まりました！



文学講座へくにたちブッククラブへ

なぜ、その道を選んだのかー

私たちの毎日は選択の連続です。その選択には必ず理由が存在します。一見不合理ともいえる行為の奥底にも、その人なりの理由があるのです。社会はあまりにも分断されてしまっていて、他者の行為に対して理解しようとする心があらかじめ塞がれてしまっています。自分とは異なる価値観をもつ他者の選択の理由を「文学」を通して考えてみる、というのが今年度のテーマです。自分では絶対に選ばない道をと、ためらいもなく進んでいく作中人物から受け取る心のざわめき、不穏な感動……。そんな自分の読書体験について語り合いたいです。講師の山岸さんからの言葉。今年度は次の作品を読んでいきたいと思えます。ぜひご参加ください。



ブッククラブの当日や年間の流れはこちらのホームページからご覧ください。

月日	作品	講師
5/14(木)	芥川龍之介『藪の中』 <small>※文庫の書名は『地獄変・餓盗』。上記文庫の中に収録。</small>	山岸 郁子 (日本大学・日本近代文学)
6/11(木)	羽田圭介『スクラップ・アンド・ビルド』	深津 謙一郎 (共立女子大学・日本近代文学)
7/9(木)	朝比奈秋『植物少女』	尾崎 名津子 (立教大学・日本近代文学)
9/17(木)	野上弥生子『真知子』	小平 麻衣子 (慶應義塾大学・日本近代文学)
10/8(木)	高瀬隼子『おいしいごはんが食べられまじょうに』	大木 志門 (東海大学・日本近代文学)
※11月(木)	市川沙央『ハンチバック』	榎本 正樹 (文芸評論家・現代日本文学)
※12月(木)	桐野夏生『日没』 <small>(岩波現代文庫)</small>	佐藤 泉 (青山学院大学・日本近代文学)
1/14(木)	武者小路実篤『友情』 <small>(新潮文庫)</small>	大野 亮司 (亜細亜大学・日本近代文学)

とき 夜7時半～9時半 ※11・12月は日程が決定次第お知らせします。
ところ 公民館 3階講座室
定員 30名 参加多数の場合、市内在住・在学・在勤の方を優先
申込先 4月14日(火) 朝9時～ 電話またはホームページより
することがあります



▲申込フォーム


せいかつ 生活のための にほんごこうざ 日本語講座



生活に必要な日本語を学びます。自分の日本語のレベルに合わせて勉強できます。市内に住んでいる小さな子どものいる人は、子どもをあずけて勉強できます。

くわしいことは公民館までお問い合わせください。

公民館 ☎042 (572) 5141



ホームページからもお問い合わせできます。

曜日 時間	火曜日 10:00~11:30	火曜日 10:00~11:30	※火曜日・夜 19:00~20:30	水曜日 10:00~11:30	水曜日 10:00~11:30	木曜日 10:00~11:30	木曜日 10:00~11:30
レベル	入門	初級Ⅱ	大人のための会話	すたーたー Starter	初級Ⅰ	入門	初級Ⅱ
対象	ひらがなが読める人	テキスト『みんなの日本語初級Ⅰ』が終わった人	日常会話を学びたい人	ひらがなからはじめます	ひらがなのみ書きができる人	ひらがなが読める人	テキスト『みんなの日本語初級Ⅱ』の35課まで終わった人
講師	友成 久恵	河村 双葉	大野 宏子 他	テイラン 恵子	北村 房子	森 恵子	大野 宏子
開始日	5月12日～	5月12日～	5月19日～	5月13日～	5月13日～	5月14日～	5月14日～

★各曜日の午前の講座が終わった後と土曜日の午前10時から、ボランティアと会話の練習ができます。無料で参加できます。

※「大人のための会話」は2週間に1回実施します。

場所 公民館 **定員** 各コースとも15人くらい

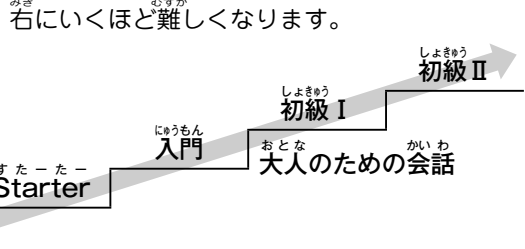
費用 テキスト代 2,500円(ただし、貸出用の無料のテキストもありますので、公民館に相談してください)

テキストは『みんなの日本語』の第3版を使います。

申込先 公民館2階窓口で申し込んでください。

火～金曜日 9:00a.m.～5:00p.m.(祝日を除く)

レベルの目安



Japanese classes for daily life

From 12 May 2026, new semester will start.

If you would like to join this program or for more information, please call Kominkan or come to the office (2nd floor). ☎042 (572) 5141

For inquiries : Tuesday to Friday, 9:00~17:00

在公民館举办的日常日语讲座将于2026/5/12开始新学期。想参加讲座或了解更多资讯，请来电公民馆或前往公民馆办公室(2楼)。

☎042(572)5141 咨询电话：星期二～星期五 9:00～17:00

생활을 위한 일본어 강좌

2026년 5월12일부터, 일본어 강좌를 시작합니다.

참가하시고 싶은 분, 자세한 내용을 알고 싶은 분은 공민관으로 전화를 하시거나, 2층 사무실로 오셔서 문의 바랍니다. ☎042 (572) 5141

문의: 화요일～금요일 9:00～17:00



←日本語講座の様子

各曜日の講座終了後や、土曜日は、地域のボランティアスタッフとの会話を楽しめます →



外国からきたみなさんのための にほんごサロン

いま国立で生活している外国から来たみなさん、みんなで話しながら交流しませんか。

日本文化に触れたり、国立の街のことや日本の災害のことを知ることができます。催しを楽しみながら、日本語の会話を楽しみましょう。ぜひ気軽に参加してください。

*サロンとは……交流の場、会話を楽しむ場を意味します。



←昨年度のにほんごサロンの様子(日本や外国の絵本を一緒に読みました。)

とき おおむね第3金曜日、10:00-11:30a.m. など

ところ 公民館 3階講座室など

申込・問合せ先 公民館 ☎042 (572) 5141

協力: KUNIBO

(くにたち地域外国人のための防災連絡会)



しょうがいしゃ青年教室



しょうがいしゃ青年教室は、しょうがいのある若者とない若者が共に活動して、お互いに学び合う場をつくることを目的にした青年教育事業です。一緒に活動するメンバーを募集します。

右記の6つのコースごとに、年に6～9回程度活動します。いずれか1つのコースを選んで応募してください。

また、全体でのイベント（BBQやクリスマス会など）も季節ごとに開催しており、希望に応じて参加できます。

期間 5月～来年2月（一部3月まで）。月1～2回程度

対象 市内在住・在学・在勤の学校卒業後～30歳くらいまでの「しょうがいしゃ手帳」を持つ方

申込先 4月14日（火）までの朝9時～夕5時の間に電話で公民館しょうがいしゃ青年教室担当までご連絡ください（※後日面談があります）。

※コースにはそれぞれ定員がありますので、ご希望にそえない場合もあります。ご了承ください。



白熱のバドミントン(スポーツ)



おいしくできるかな？(料理)

〈身体表現ワークショップ〉

からだであそぼう

—のびのびとうごくワークショップ—

のびのびとからだを動かして、自分を表現してみませんか？ まずは深呼吸をしてからだをほぐし、音楽やもの、いっしょに参加するメンバーのからだなど、毎回、いろいろなヒントを使って楽しみながら自分のイメージを豊かに表現していきます。

こころもからだも柔らかくして自分の可能性を開放し、仲間と楽しく作品を創りましょう。講座の最後には、しょうがいしゃ青年教室のクリスマス会で作品を発表します。

ファシリテーター 大川 あじさい

〈プロフィール〉アーティスト。演劇・ダンス・絵画作品など発表。ジャンルにとらわれない独自の表現を模索・活動中。「喫茶わいがや」元スタッフ。

とき 全8回。①5月23日②6月27日③7月18日④9月26日⑤10月17日⑥12月5日⑦12日⑧13日（発表会）
※①～⑥（土）2時～4時、⑦4時～6時、⑧（日）
時間は2時～4時

ところ 公民館 地下ホール（場合により講座室）

対象 身体を使って表現すること、しょうがいがある人と一緒に舞台をつくることに興味がある方。年齢・国籍・性別・しょうがいの有無は問いません。
※しょうがいのある方は、後日面談の場合あり。
保護者の方や、ヘルパーさんの参加も歓迎！

定員 12名（申込先着順）

申込先 4月14日（火）朝9時～5月19日（火）夕5時まで
電話で公民館へ

コース	活動予定日	内容
スポーツ	第1土曜日 昼2時～4時	市内体育館などで様々なスポーツに挑戦します。昨年度はバスケットボールや卓球を行いました。
クラフト	第3土曜日 昼1時～2時半	毎回オリジナルの工芸やアート作品を作ります。昨年度はコーヒー染めや、楽器づくりなどをしました。
料理	隔月第3土曜日 夕4時半～7時	色々な料理に挑戦します。昨年度はトマトカレーやベトナムのフォーなどを作りました。
リトミック	隔月第2土曜日 さくら： 朝10時半～12時 いちよう： 昼2時～4時	さくら・いちようの2コースに分かれて活動します。音楽のリズムに合わせて身体を動かしたり、歌ったりします。
Y Y W	基本日曜日の午後 （皆で相談して決めます）	一人ではやらないことを皆で企画して楽しいときを過ごす講座。昨年度は多摩動物公園へのお出かけやお悩み相談会などをしました。
喫茶実習	開店時と希望日時を調整して日程を決めます。	公民館内の「喫茶わいがや」でコーヒーを淹れるなど喫茶体験をします。

しょうがいしゃ青年教室&喫茶わいがや ボランティア随時募集中

「しょうがいしゃ青年教室」と「喫茶わいがや」は、しょうがいのある・なしに関わらず若者たちが一緒に楽しみ合い・学び合うことを目指した活動です。

しょうがいしゃ青年教室のボランティアは、活動の企画・運営をスタッフ同士や職員と協力しながら行います。喫茶わいがやでは、しょうがいのある方とともにコーヒーを淹れたりお菓子を作ったりと喫茶活動を行います。ボランティアの経験がなくても、月1回からの参加でも大丈夫！

公民館で、あなたの世界を広げてみませんか？
ぜひお気軽にお問い合わせください。

ところ 公民館内
喫茶わいがや、
青年室ほか

対象 高校生～30代くらいまで

**申込先
問合せ先**



地域のイベントへの出店も
（わいがや）



シルバー学習室

— 新たな発見と地域の仲間づくり —



1年間を通してさまざまなことを学びながら、同じ市内に暮らす仲間との交流を深めていく講座です。修了後には同窓会「心遊会(※)」に参加して、サークル活動を続けることもできます。

春から新しいことに挑戦してみたい方、市内での仲間づくりをしたい方、ぜひご参加ください!

と き 5月7日～2月中旬頃(8月は夏休み)

毎週水曜日か木曜日 朝10時～12時

ところ 公民館 集会室ほか(料理は福祉会館、自然観察は矢川周辺や郷土文化館など、お出かけ企画や公民館以外の市内施設の利用もあります。)

対 象 おおむね60歳以上の市内在住の方

定 員 20名(年間を通して参加できる方、申込先着順)

申込先 4月9日(木)朝9時から23日(木)まで
電話で公民館へ

《主な内容》*すべての講座にご参加いただきます。

- ◆ 健康を考えた手軽な料理
高血圧や骨粗しょう症予防の食事などについて学びます。
講師 北川 みどり(管理栄養士)
- ◆ くにたちの自然に目をむける(自然観察)
春と秋に市内を歩いて、自然の移り変わりを学びます。
講師 佐藤 節子(NPO国立市動物調査会)
- ◆ 地域を知る(地域探訪)
市内を歩き、地域の魅力的な居場所や人材を探ります。
講師 今村 和義(心遊会)
- ◆ 三原色で絵が描ける(水彩画入門)
初心者でも描きやすい「キミ子方式」で水彩画に挑戦します。
講師 田添 むつ子(キミコ・プラン・ドゥ)
- ◆ 文章で自分を表現(文章創作)
文章創作を通じて自分や仲間の想いに触れます。
講師 大塚 敦子
(ジャーナリスト、ノンフィクション・写真絵本作家)
講座の内容や講師が変更になる場合もあります。



▲新緑の矢川緑地を散策(自然観察)

▼赤、青、黄、白で何色作れるかな?(水彩画入門)



(※)心遊会とは…シルバー学習室を修了した方たちが、学習を継続しながら、交流を深める同窓会です。心遊会の中には、11のサークル(故郷探訪、自然観察、文学鑑賞、俳句、作文、写真、水彩画、体操、和踊り、カラオケ、麻雀)があり、興味のあるサークルで自主活動したり、心遊会が企画するイベントに参加したりすることができます。

第71回くにたち市民文化祭 参加団体募集! 第1回実行委員会のお知らせ

毎年秋に行われる「くにたち市民文化祭」に向けて、今年度も実行委員会を立ち上げて準備をしていきます。

第1回の実行委員会では、文化祭の実施や方針についての話し合いを踏まえ、発表の日時や場所を決めます。

文化祭は、美術、伝統文化、芸能など、日ごろのグループ活動の成果を発表する場です。文化を通じて交流し、仲間の輪を広げてみませんか。

今年度は10月17日(土)～11月29日(日)までの期間で、参加を募集いたします。※募集状況により調整あり。



昨年度のくにたち市民文化祭の様子



【第1回 文化祭実行委員会】

と き 4月16日(木) 夜7時～

ところ 公民館 地下ホール

問合せ 公民館 ☎042(572)5141

✉ sec_kominkan@city.kunitachi.lg.jp

申込先 4月15日(水)夕5時までに参加予定希望票(エントリーシート)をメール・郵送・持ち込みのいずれかで、公民館に提出してください。参加予定希望票は公民館窓口でのお渡しのほか、ホームページからもダウンロードできます。また、右上の申込フォームからも申込が可能です。※参加予定団体が多い場合はあらかじめ事務局で日程を調整します。

※団体の代表者は実行委員会に全回出席してください。(全4回開催予定)

※初めて参加を希望する団体は、4月15日(水)夕5時までに公民館に電話もしくはメールでご連絡ください。文化祭に関する一連の流れをご説明させていただきます。



申込フォーム

混声合唱団国立とぎわ会 募集
 中学生が始めた合唱団も70周年演奏会を終え、新しい団員を募集中です。四季の唱歌、群青などを、日曜午後と一緒に歌って、リフレッシュしませんか？
日時 第2・4日曜日 昼2時～
場所 国立商協ビル・公民館
連絡先 一法師090(2563) 7919



ひろば

(8ページにもあります)

アクアかもめ水泳会員募集
 運動不足の方、健康な体づくりに水泳を始めてみませんか。初心者～上級者、泳力別にコーチの指導を受けて泳ぎます。男女問いません。体験可。(無料)
日時 毎週金曜日 朝10時～12時
場所 FSXアリーナ室内プール
連絡先 安藤042(527) 2255

合同いけばの会 メイト募集
 あなたも日本のいけばなを始めませんか。池坊にて開催しています。各流派が集まった会です。花代1500円
日時 第1・3水曜日 昼1時半～
場所 公民館(部屋未定)
連絡先 石原080(4819) 1302
 指田090(4079) 6518

和気あいあいF1テニスクラブ
 初心者も上手な人も楽しくテニス！これをモットーに毎月4回程度の休日に、仲良くコートを駆け回り回っています。お花見、麻雀大会などのお楽しみ企画も。
日時 土日2時間、2面使用
場所 谷保、矢川、広場コート
連絡先 香山042(577) 0748

ペルー料理教室
 ペルーや南米の料理を楽しく学びませんか？一緒に料理や美味しい伝統的なお菓子作りをしながら、南米の文化について和やかに交流しましょう。一緒に作りませんか？
日時 毎週木曜日
場所 公民館
連絡先 カリン080(3504) 1707

余暇をギターで楽しむ
 くにたちギタークラブかなでクラシックギターで合奏を中心に重奏等を楽しんでいます。色々なジャンルの曲に取り組んでいます。どなたでもどうぞ。会費無料。
日時 毎週日曜日 昼1時～4時
場所 東福祉館等
連絡先 石井090(8509) 6705

国立あひるグループ会員募集
 女声三部のコーラスグループです。未経験でも大丈夫。みんなで声を出して音楽を創るのは楽しく、何より心身を元気にしてくれます。会費月3千円。見学大歓迎！
日時 毎週金曜日 昼1時～3時半
場所 公民館 地下ホール
連絡先 宮坂042(576) 3872

ー6月分(ロビー7月分)の会場調整会のお知らせー

申込書のポスト投入期間	4月4日(土)～4月23日(木)
予約の重なりがあった団体の掲示開始日(国立市HPにも掲載)	4月18日(土) ▶重なり状況
会場調整会	4月25日(土)朝10時～ 会場：地下ホール

※会場調整会当日は朝10時までに受付してください。

〈図書室のつどい〉 ある日、森の中でクマさんのウンコに出会ったら ーツキノワグマ研究者のウンコ採集フン闘記ー

お話 小池 伸介 (東京農工大学)

クマはアニメや絵本に出てくるようなかわいい姿を愛されたかと思えば、近頃では日本の山村で過疎化が進み、クマとの遭遇が日常化し、世間を騒がせることも多くなりました。

クマは先行研究が少なく、小池さんは糞を採集することでその生態を調査してきました。そのために、森の中の道なき道を行き、ロープを使って崖を下ったり、吹き矢でクマを眠らせたりと、まるで探検家のようなフィールドワークを重ね、クマや他の生き物が絶妙なバランスで関係しあっていることなどを解明してきました。クマをはじめ森の生態系全般の専門家でもある小池さんに、クマの生態や野生動物と人間の関係などについてお話を伺います。

〈小池さんの本〉表題作 (辰巳出版)
とき 5月16日(土) 昼2時～4時
ところ 公民館地下ホール
定員 70名(申込先着順)
申込先 4月8日(水) 朝9時～
 電話またはホームページより



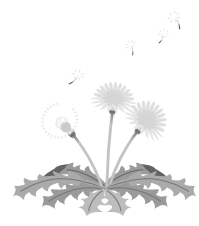
〈古典への招待〉 『万葉集』を読む

講師 水島 英己 (詩人)

昨年度に引き続き万葉集を読みます。昨年度の講座で取り上げなかった巻第五と、さらに理解を深めるため、巻第六の補足が今年度は中心になります。巻の特徴や、その中に配列された歌と歌人、歴史(事件)の相互の関係、照らし合いを考えながら読んでいきます。その過程で、歌の今までの捉え方や意味も変化していくかもしれません。新鮮な理解のもとに、一首の歌の意味はもちろん、その歌はどうして詠まれたのか、なぜその巻にあるのかなど、みなさんと一緒に楽しく追究する場にしていきたいと考えています。

〈使用するテキスト〉各回プリントを配布します。
 (参考) 『万葉集』(岩波文庫)、中西進『万葉集』(講談社文庫)など。「万葉集」全歌が収められているものならどれでも可(なるべく原文のあるもの)
とき 5月15日、22日、29日、6月12日、19日
 (全5回) いずれも金曜日、昼2時～4時
ところ 公民館 3階講座室
定員 30名(申込先着順)
申込先 市内在住の方 4月15日(水) 朝9時～
 市外在住の方 4月22日(水) 朝9時～
 電話で公民館へ

ひろば



ターゲットバードゴルフ!

ゴルフ自慢の方も、ゴルフが好きな方も、ゴルフを始めた方も、腕試しにラウンドしませんか。きつと面白さの虜になりますよ。まずは、足を運んで確認しましょう。

日時 毎週木曜12時、金曜9時
場所 谷保第三公園グラウンド
連絡先 国立TBG協会
坂井090(249)9175

プロウタイム書道学習会員募集

ここを耕す書道の時間。自主グループ始動。課題自由・持込可硬筆OK。脳トレ、リハビリにもお気軽にどうぞ。見学歓迎!

年会費千円、一回500円
日時 第2・4火曜10時半〜12時
場所 矢川プラス多目的ルーム小
連絡先 山根090(2436)8485

スポーツウエルネス吹矢体験会

春です。花粉症の心配もない屋内で、健康増進に話題のスポーツ吹矢を体験してみませんか。老若男女、未経験の方でも、どなたでも始められます。体験無料です。

日時 要予約をお願いします
場所 体育館北プラ公民館福祉会館
連絡先 SWF協会
坂井090(249)9175

今月の公民館 (4月~5月)

- 4月11日(土)朝 女性の生き方を考える講座・公開講座「話題の本『母親になって後悔してる、といえたなら』から考える」
- 16日(木)夜~ 文化祭実行委員会
- 5月7日(木)朝~ シルバー学習室
- 9日(土)朝~ しょうがいしゃ青年教室
- 12日(火)朝~ 生活のための日本語講座
- 14日(木)夜~ くにたちブッククラブ 芥川龍之介『藪の中』
- 15日(金)昼~ 古典講座『万葉集』を読む
- 16日(土)昼 図書室のつどい 『ある日、森の中でクマさんのウンコに出会ったらーツキノワグマ研究者のウンコ採集フン闘記ー』
- 21日(木)朝~ 女性のライフデザイン
- 23日(土)昼~ からだであそぼうーのびのびとうごくワークショップー

講座の開催状況などに変更があった場合は、公民館入口付近への掲示や、ホームページでお知らせします。ご不明の点はお問い合わせください。
公民館 ☎042(572)5141



▲講座等の案内

数学を楽しむ集い

数学の不思議を解き明かします。身近な話題からパズル、図形など色々な話題を紹介します。驚きと謎があふれる数学の世界に気軽に挑戦してください。お電話を!

日時 第2・4土曜昼1時〜3時
場所 公民館 集会室等
連絡先 山本042(572)1028

くにたち市民オーケストラ

第48回ファミリリーコンサート
モーツァルト「劇場支配人」序曲チヤイコフスキー「白鳥の湖」より抜粋ベートーヴェン交響曲第五番「運命」指揮 野村洸太郎 入場無料
日時 4月19日(日) 昼2時開演
場所 一橋大学兼松講堂
連絡先 事務局080(546)9292

PFAS国立の会・ウナイ上映

「ウナイ」は沖縄の方言で女性を意味し、PFAS汚染に立ち向かう女性達の日本初ドキュメンタリー映画です。PFAS汚染の現状がわかります。費用 800円
日時 4月26日(日)10時会場10時半
場所 公民館 地下ホール
連絡先 長瀬090(719)7051

くにたちバロックアンサンブル

第23回演奏会 アマチュア弦楽合奏団 ウィリアム・ボイス、フランシスコ・デュランテ、J.S.バッハ管弦楽組曲3番(弦楽版)
他 指揮 茂原暢 入場無料
日時 5月5日(火・祝) 昼2時開演
場所 三鷹市芸術文化センター
連絡先 北垣042(572)5641

サークル・オブ・ジョイ

今回の取材はゴスペルクワイア Circle of Joy という名前だけで楽しい予感がした。練習場所は富士見台の団地通りを少し入った住宅地にあり、家庭的な雰囲気の中で脱いで上がり込む大きな応接間的な音楽スタジオである。

スタジオに入ると主宰者でありピアノ奏者である黒田潮文さんと歌唱指導されている黒田清美さんが優しい笑顔で迎えて下さった。

メンバーは現在9名だそうだが、今日の練習には女性5名と男性1名が参加していた。結成は二十数年前。サークル名は「歌う喜びが聴く人の喜びとなり、その喜びが再び歌い手へと返ってくることで、大きな喜びの輪を生み出す」という意味で、それに相応しく練習が進んで行く。編成パートは混声合唱団と同じであるが、楽譜には英語の歌詞のみで、清美さんのリードとピアノに助けられながら聴音だけでどんどんパート練習が進み、そのあと直ぐに合唱となる。その素敵なハーモニーによりゴスペルの原点であるアフリカ系アメリカ人の教会の自由な魂からの賛美が感じられ、筆者も喜びの輪に入ってしまった。練習スタジオは半地下で窓から冬日和の日差しが心地よい。

黒田ご夫妻とメンバーの方のお住まいの地理的中心地が国立市であったため、結成後最初の練習がくにたち芸小ホールだったそう。

それ以来、多摩地域でのチャリティコンサートや高齢者施設訪問などを積極的に行っている。今年1月には旧国立駅舎でも演奏された。団員は40代から70代で新入団員を随時募集しているとのこと。

潮文さんのグルービーなピアノ伴奏と清美さんの熱心な指導と素敵な歌声に触れたい方はお薦めです。

日時 原則第2・第4土曜日 昼3〜夕5時
場所 スタジオ・レニー (富士見台2丁目31-17)
連絡先 speak lord001@yahoo.co.jp

〈文・写真 公民館だより 編集研究委員 望月淳夫〉



楽しそうな練習風景